

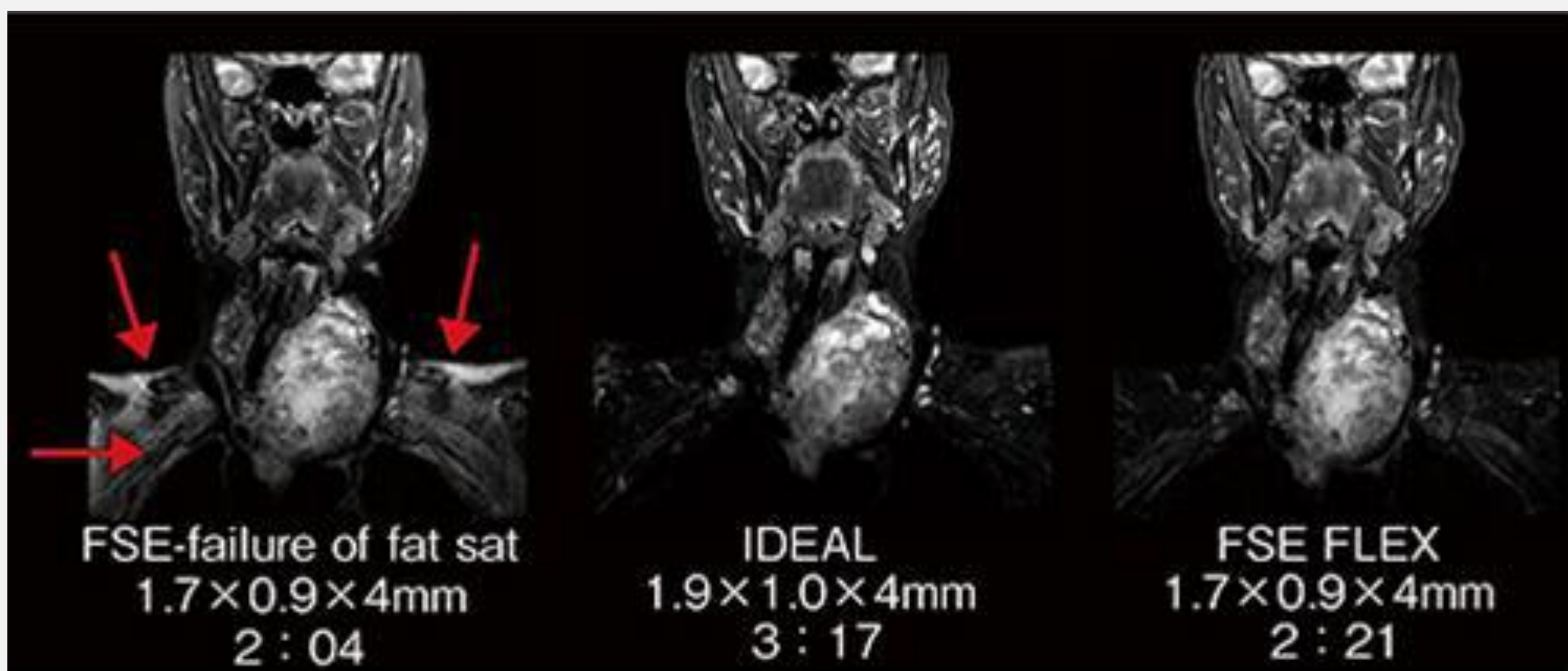
MRI 改良された脂肪抑制撮影のご紹介

FLEX ～改良された脂肪抑制撮像法～

脂肪抑制は今までFSE法が使用されていました。
しかし、局所磁場不均一により脂肪抑制が不良になる事がありました（下図左）。

そのため、安定した脂肪抑制効果が得られるthree-point Dixon法をベースとした撮像法（GE社ではIDEAL）が広く用いられるようになりました（下図中央）。
これは局所磁場不均一の影響を排除した精度の高い水脂肪分離技術を用いて、水画像、脂肪画像、in phase画像、out of phase画像の4種類の画像を一度に得られるというメリットもあります。しかしながら、3つの異なるTEのデータを用いて画像再構成することから、通常のFSE法に比べて撮像時間が長く、また条件によってはブラーリング（画像の輪郭のボケ）が生じやすいというデメリットもありました。

それらのデメリットを極力抑えて開発された撮像法が、two-point Dixon法をベースとするFLEXです。全身領域においてIDEALよりも短時間で、かつブラーリングの少ないデータを取得することが可能となりました（下図右）。



ご予約は**022-273-3141**（検査予約直通）まで
※医療機関様の画像検査ご依頼専用回線です
（検査の適応についてのお問い合わせもこちらでお受けしています）

 <https://www.seiryu.or.jp>
 980-0801
宮城県仙台市青葉区木町通2-4-45
 022-273-3533

仙台星陵
クリニック